

交流校交流（オーストラリア ジョン・フォレスト・セカンダリーカレッジ）

COVID-19の蔓延も収まり、2023年度からオーストラリアへの訪問を再開し、交流を行った。

1 目的

オーストラリア・パース州の交流校ジョン・フォレスト・セカンダリーカレッジとの交流を通して語学力の向上・背景知識の習得とともに、異文化を体験し理解を深める。

2 日程

交流 2023年7/27（木）～8/4（金）

3 場所・参加者

オーストラリア・パース州 ジョン・フォレスト・セカンダリーカレッジ

交流参加者 1年生徒4人

2年生徒11人 計15人

4 企画・行事の留意点

ジョン・フォレスト・セカンダリーカレッジの所在地はオーストラリアのパース州にあり、その中心部より北東へ10km進んだところにある。パース市街地からはバスで15分程離れた場所にあり、自然豊かな環境で落ち着いた場所であった。

中高一貫で合わせて約1100人が在籍し、創立60周年を迎える公立高校である。高い教育水準で数多くの受賞経験があり、クリケット、ネットボール、テニス、音楽、コンピューターサイエンスのスペシャルプログラムの提供なども行われている。

今年度から現地を訪問しての交流活動が再開となった。また、パース州立高校との交流は今年が初めてとなるため、現地での交流が有意義なものとなるよう、オーストラリアの歴史や自然、英会話などの知識を増やす事前学習の機会を充実させた。

5 生徒の声 2023年度 交流の感想

交流を行ってみて、良かったと思うことはなんですか？

相手に自国の文化を教えられてよかった。

海外の人の面白さに触れることができた。

自分の英語が通用するかわかってよかった。

普段勉強していた英語を話すことを実践できた。

普段の生活の中で外国の人と話す機会が無いから良い経験になったと思う。

実際に海外の人と関わることで違いなどを身をもって体感できたこと。

短い交流でも楽しく話すことができて自信になりました。

初めて同い年の海外の方と話せて楽しかった。

違う言語の人たちと初めて話すことができいい経験になった。

同じ年だから話す話題が多くてたのしかった。

初めて海外の人と自分の力だけでコミュニケーションをとることができた。

自分の英語力と海外の方とのコミュニケーションの仕方が少しわかったことが良かった。

交流を踏まえ、英語の学習として今後取り組もうと思ったことはなんですか？

単語力、文法力をつけたい。

英会話をやってみたいと思った

話せるように英語の勉強を真面目にやる

コミュニケーション能力を高めたい。

英会話など話すときに必要な文法、単語をしっかりと覚えるようにしたい。

会話の表現のバリエーションを増やす。

今の英語の発音だと相手が聞き取れないことが何度かあったので、発音に注意して学習していこうと感じた。

聞きとるのが難しかったので、リスニングをもっと鍛えようと思った。

実用的な英語力を培うために英会話を聞く。

日常会話ができるようになること。

若者言葉など現地の人だけしか使わないような言葉も学んでみたいと思いました。

文をすぐに構築できるようにしたい。(会話が続くように早く文を作る)

質問して答えてくれたことに対する反応のバリエーションを増やし、コミュニケーションをもっととれるように英文をもっと臨機応変につくれるようにしたい。

交流を行ってみて、交流の方法で改善できると思ったことはなんですか？

会話の内容

緊張して始めがすぐに話せなかった。

ジェスチャーをする。

あいづちのバリエーションを増やせる。

質問攻めにせずに会話できるようにしたい

もっと長い時間やりたかった。

単語を正しく頭から引き出すこと(アウトプット)

1対1でもっと長く会話できたら良かった。

もっと自分から話しかける。

今後、どんな交流をしてみたいですか？

一緒にゲームをする。

いろいろな国の人ともっと話してみたいです。

文化を紹介する交流をしてみたい。

オーストラリアだけではなく、アメリカやイギリスなど他の国の人とも交流してみたい。

英語圏の人ではなく、アジアの人などと英語で交流したい。

文を用意せずに自分の言葉でやってみたい。

日常的な会話をしたい。

6 成果と課題

感染症拡大防止の観点から、これまでほとんどの交流がオンラインで行われていたため、生徒にとって現地を訪問しての交流活動は貴重な経験となったようである。生徒が日頃の学習を実践できたこと、異文化理解を深める機会となったことは成果であるといえる。しかし、事前学習で準備していたプレゼンテーションではうまく発表することが出来なかった生徒もいたので、より有意義な内容としていくことが今後の課題である。現地での交流活動は期間が限られており持っている力を思うように発揮することが出来ない等難しい点もあるが、普段と異なる環境での生活やコミュニケーション、学習活動への参加は生徒にとって異文化を学ぶ貴重な経験となったため、今後も実施していきたい。

7 内 容

(1) 1・2日目 7月27日(木) 7月28日(金)

羽田空港から約14時間のフライトを経て、パースに午後15時半ごろ到着。そこからバスでマッチング会場(ジョンフォレスト高校)まで行き、ホストファミリーと対面しそれぞれの家へ向かった。

(2) 3・4日目 7月29日(土) 7月30日(日)

ホストファミリーと過ごす

(3) 5日目 7月31日(月)

授業 1 日目は朝 8 時にジョンフォレスト高校に集合した。チャドウィック先生から学校の説明を受け、バディとペアリングをした。ホームルームに参加したのち、1 時間目は学校についてのオリエンテーション、2 時間目は日本語の授業に参加した。互いの言語を英語や日本語で教えあったり、折り紙で鶴を作ったりした。5 時間目は美術の授業で、オーストラリアの先住民族であるアボリジニの文化「ドットアート」を学び、作品作りを体験させてもらった。正方形の画用紙に点で絵の具をつけていき一つの模様を作るもので、生徒も想像力を働かせながら取り組んでいた。オーストラリア特有の伝統や文化に触れ、生徒にとって貴重な体験であった。

(4) 6日目 8月1日(火)

この日も学校に朝 8 時に集合し、全員でバスに乗って西オーストラリア大学へ向かった。到着後、3 つのグループに分かれて現地のユースリーダーとアクティビティをおこなった。内容は、現地の学生に道を尋ねたりしながら大学のチェックポイントを周るものだった。一通り校内を散策した後はグラウンドでサッカーを楽しみ、写真撮影をしてユースリーダーとお別れした。午後 12 時半ごろに大学を出発し、キングスパークに向かった。戦争の慰霊碑を全員で見学し、その後自由時間となった。キングスパークはディズニーランド 8 個分程の広大な土地に様々な植物や動物が生息しており、公園内を散策しながらオーストラリアの自然に触れることができた。その後はバスで学校に戻りホストファミリーにお迎えに来てもらい解散となった。

(5) 7日目 8月2日(水)

最終日となる授業 3 日目雨で肌寒い気温だった。1~3 時間目はバディの授業と一緒に受けた。ジョンフォレスト高校には様々な科目がありウッドアート、STEM、バイオロジーなどの授業を受けた。ウッドアートでは、木材を加工してトレーラーを作るために様々な機械を使って木材に穴をあけたり、円柱状に削ったりする作業に取り組んでいた。4 時間目のチャドウィック先生の日本語の授業では本校の生徒がグループごとに準備した四季や着物、落語などの日本の文化についてのプレゼンテーションをおこなった。その中でも落語についてのプレゼンテーションで、似ている日本語の言葉遊びについては現地の生徒も感心していた。ランチの後は AFL (オーストラリアンフットボール) について学んだ。現地で人気のあるスポーツで生徒も実際にボールを持ってパスやキックなどをして楽しんでいた。6 時間目にバディと最後の授業を受けてお別れとなり、交流校でのプログラムは全て終了した。

(6) 8・9日目 8月3日(木) 8月4日(金)

3日(木)の11時ごろパースを出発し4日(金)の午前5時半ごろ日本に到着した。今回生徒たちが体験できたことは沢山あったが、理科や社会の先生による事前学習、オーストラリアホームステイ経験のある先生からのアドバイスなどを頂いたことで自分たちの知識をより深めて今回の交流に参加することができた。その結果、オーストラリアの歴史や自然、授業などの説明も興味深く聞くことができた。

今回の旅行を通して多くの人たちの温かい心遣いに触れ、現地の方々のオーストラリアをもっと知ってもらいたいという熱い思い、異文化や壮大な自然に触れた経験を、今後の高校生活に生かし、世界で活躍してくれることを心より願っている。

8 事前学習日程

第 1 回	5/11(木)	旅程概要確認、事前研修日程確認 提出物確認 プレゼン班・テーマ決め(全員) オーストラリアのホームステイについて・ホームステイ全般
第 2 回	5/25(木)	オーストラリアの歴史

第 3 回	6/ 1 (木)	オーストラリアの自然
第 4 回	6/14 (金)	ホームステイ英会話練習 ジェイク先生
第 5 回	6/ 8 (木)	保護者、生徒説明会
第 6 回	6/22 (木)	映画鑑賞 裸足の 1500 マイル
第 7 回	7/ 7 (金)	プレゼン作成
第 8 回	7/13 (木)	プレゼン作成
第 9 回	7/18 (月)	プレゼン発表 (生徒・管理職など)
第 10 回	7/25 (火)	最終確認・渡航注意

9 事後学習

テーマ 「オーストラリア交流で何を学んだか。これからの高校生活にどう生かしていくのか。」

- 英文日記
- 11 月校内成果発表会 (2 年)
- 壁新聞 (1・2 年)
- 令和 6 年文化祭発表 (1 年)
- 令和 5 年第 2 回・1 年生対象成果発表会 (2 年)

〈交流の様子〉

